

各機関の取り組み

横浜支社

横浜支社では、2013年度に、横浜線の駅ホームへのLED照明導入やペットボトルキャップを使ったエコキャップアートの展示等、環境とサービス品質の向上に向けた取り組みを横浜線に關係する職場を中心に展開し、沿線価値向上につなげました。これは今後のさらなる進展を期待することができ、社内外に対し取り組みを大きくアピールすることにつながっています。

<主な取り組み概要>

- ・東神奈川電車区及び車掌区のエコ推進委員が中心となり、エコキャップアートによる横浜線新型車両とエコのPR(横浜線E233系車両公開イベントにて、ペットボトルのキャップを使い作成・展示)。
- ・横浜線をモデル線区としたホーム照明のLED化(横浜線の沿線価値向上の取り組みとして、すべてのホームをLED化予定。2013年度末時点で東神奈川～橋本駅間の13駅2,837本整備)。
- ・東神奈川駅ホームLED照明による路線案内サインの実現(東神奈川駅において、誤乗防止のためにホームLED照明を横浜線発車ホーム側には緑色、京浜東北線発車ホーム側には青色の照明を自動点灯)。



東神奈川駅カラーLED



エコキャップアート

担当者の声

横浜支社では、各職場のエコ推進員が中心となり、環境活動をはじめ他企業見学など積極的な取り組みを行っています。それら活動について、社内サイトの掲示板を通じて各職場が情報発信を積極的に行い、情報の共有や水平展開などを図っています。エコキャップ活動も各職場に定着し、エコキャップアートをはじめ地元学校への寄贈など、付加価値のあるエコ活動へと発展してきています。

今後も、環境保護活動とサービス品質改革、そして沿線価値向上などにつながる取り組みを継続していきます。



横浜支社総務部企画室
水島 太一呂